

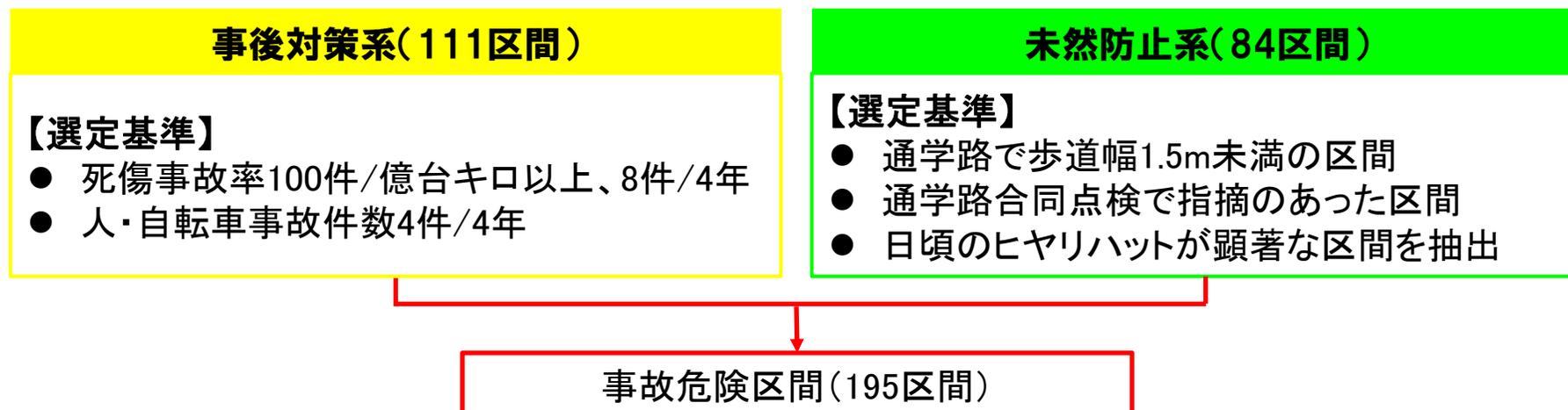
令和6年度 『事故ゼロプラン』の取り組みについて

令和7年1月28日

1. 第3期事故ゼロプランの進捗状況
2. 対策実施内容と対策後の整備効果
3. 広報による取り組み
4. 今後のスケジュール

1. 第3期事故ゼロプランの進捗状況

- 国土交通省では、事故の危険性が高い区間などを明確にし、効率的で効果的に交通事故対策を行っていくため、H22より「**事故ゼロプラン『事故危険区間解消作戦』**」として取組を実施。
- 県内の「事故危険区間」は以下の視点で選定。
 - 事後対策系**: 既に事故が発生し再発防止対策が必要な区間。
 - 未然防止系**: 交通事故の実績は少ないが利用者が危険と認識し、予防的対策が求められている区間。
通学路合同点検で対策が必要と認められた区間。



※「死傷事故率」とは？

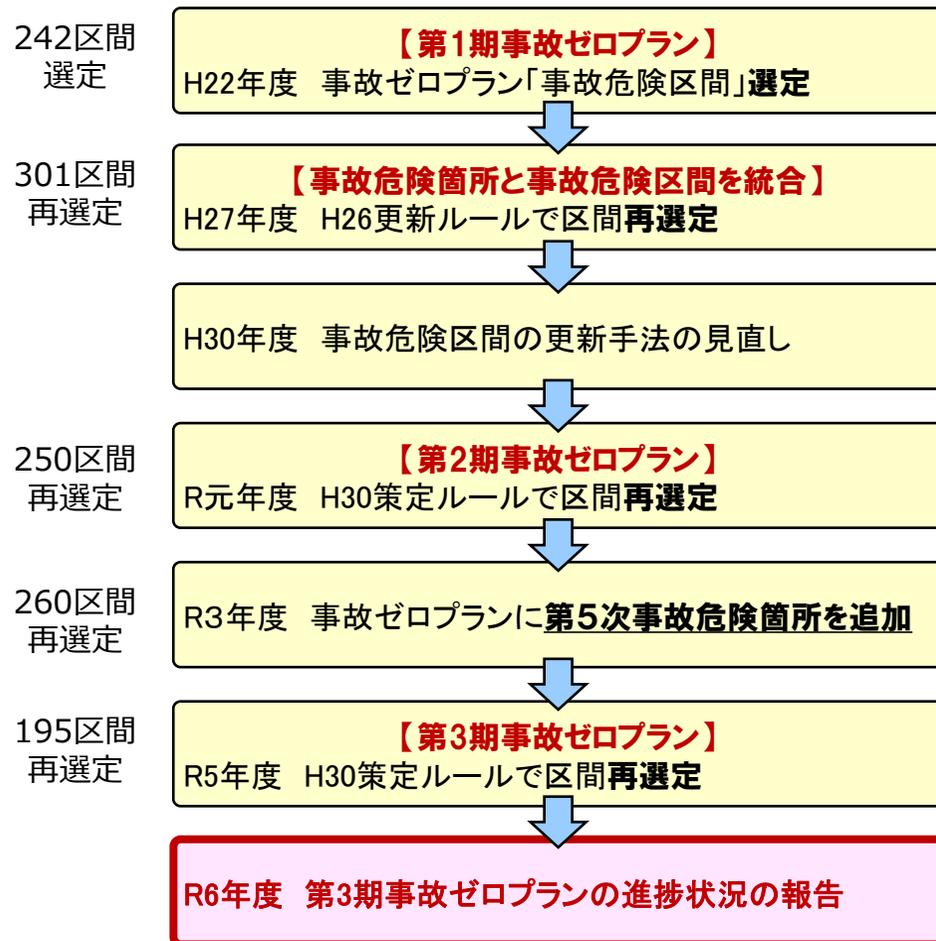
1台の自動車が1kmの道路区間を1億回走行したときの
事故の発生件数
死傷事故率100件/億台キロ・・・全国の幹線道路の平均値

$$\text{死傷事故率} = \frac{\text{死傷事故件数(件/年)}}{(\text{件/億台キロ}) \times (\text{区間延長(キロ)} \times \text{日交通量(台/日)} \times 365日) / 10^8}$$

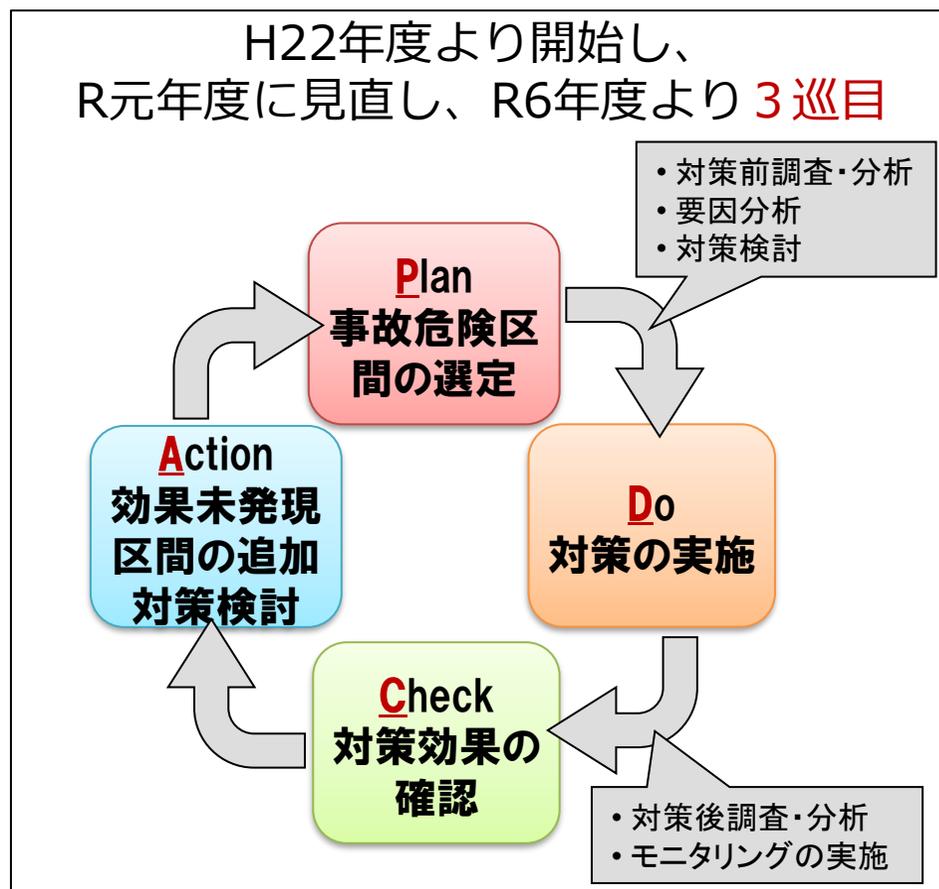
1. 第3期事故ゼロプランの進捗状況

- 事故ゼロプランとは、交通安全分野における成果を上げるマネジメントの取組み。
- 山形県独自の指標をもとに抽出した**事故危険区間**に対し、対策の実施から効果までを評価し、PDCAのマネジメントサイクルにより、逐次改善を図っていく。

■ 事故ゼロプラン更新の経緯



■ PDCAのマネジメントサイクル



1. 第3期事故ゼロプランの進捗状況

- 国交省の**事故危険区間195区間**について、令和元年～令和4年の事故データを用いて、事故危険区間の中間評価を実施。
- その結果、事後対策系区間のうち、**対策優先度の高い区間は29区間(未対策事故危険区間6区間+再対策区間23区間)**であった。

事後対策系区間(111区間)

未然防止系区間(84区間)

対策実施状況は？

対策実施状況は？

対策済 (72区間) 事業中

未対策 (22区間)

対策済 事業中 未対策

対策後4年以上経過か？

 最新事故データで
選定基準を満たすか？

Yes No

No

 対策実施後、最新の事故データで事故危険区間の選定基準を上回るか？
(4年で評価)

事故危険区間に登録されてから4年以上経過か？

Yes No

 再対策区間
23区間

 対策完了
除外候補
18区間

 対策済
経過観察区間
31区間

 事業中
区間
17区間

 未対策
事故危険区間
6区間

対象外

 未対策
経過観察区間
16区間

 対策完了
19区間

 事業中
10区間

 未対策
55区間

1. 第3期事故ゼロプランの進捗状況

- 第3期事故危険区間195区間のうち、**対策候補の区間(未対策事故危険+再対策+新規)は101区間→84区間に減少、対策完了の候補は37区間**であった。

■ 第3期事故危険区間の選定結果 (R6.2.15公表)

	対策済 経過観察区間	事業中区間	未対策 事故危険区間	未対策 経過観察区間	再対策区間	新規	合計
事後対策系	39	18	15	9	24	6	111
未然防止系	—	11	21	17	29	6	84
合計	39	29	36	26	53	12	195

対策候補 = 36区間 + 53区間 + 12区間 = 101区間



■ 第3期事故危険区間の進捗状況 (R6.12月時点)

	対策済 経過観察区間	事業中区間	未対策 事故危険区間	未対策 経過観察区間	再対策区間	対策 完了 候補	合計
事後対策系	31	17	6	16	23	18	111
未然防止系	—	10	55	—	—	19	84
合計	31	27	61	16	23	37	195

対策候補 = 61区間 + 23区間 = 84区間

1. 第3期事故ゼロプランの進捗状況

- 今後、対策を予定している区間の概要を整理。

■ 今後対策を予定している区間

	路線名	対象区間	区間の概要
①	国道7号	みずほ交差点【酒田市】 (ガーデンパレスみずほ前)	<ul style="list-style-type: none"> 第5次事故危険箇所 R6通学路点検箇所 対策検討中
②	国道7号	東大町交差点【酒田市】	<ul style="list-style-type: none"> R6通学路点検箇所 R5損保協会公表箇所 合同現地踏査 対策検討中
③	国道13号	村山市楯岡8055-1 (ヤマザワ村山駅西店前)	<ul style="list-style-type: none"> 第5次事故危険箇所 合同現地踏査 対策検討中
④	国道13号	本飯田チャンネル交差点 【村山市】 (マツキさくらんぼ校前)	<ul style="list-style-type: none"> 第5次事故危険箇所 合同現地踏査 対策検討中
⑤	国道112号	新山一丁目交差点【寒河江市】 (ベガスベガス寒河江店前)	<ul style="list-style-type: none"> 優先度の高い区間 交通量調査等実施 対策検討中

1. 第3期事故ゼロプランの進捗状況

- 「①国道7号みずほ交差点」と「⑤国道112号新山交差点」について、次頁で概要を整理。

■ 今後対策を予定している区間

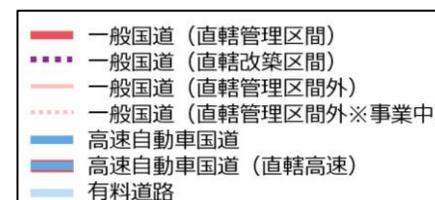
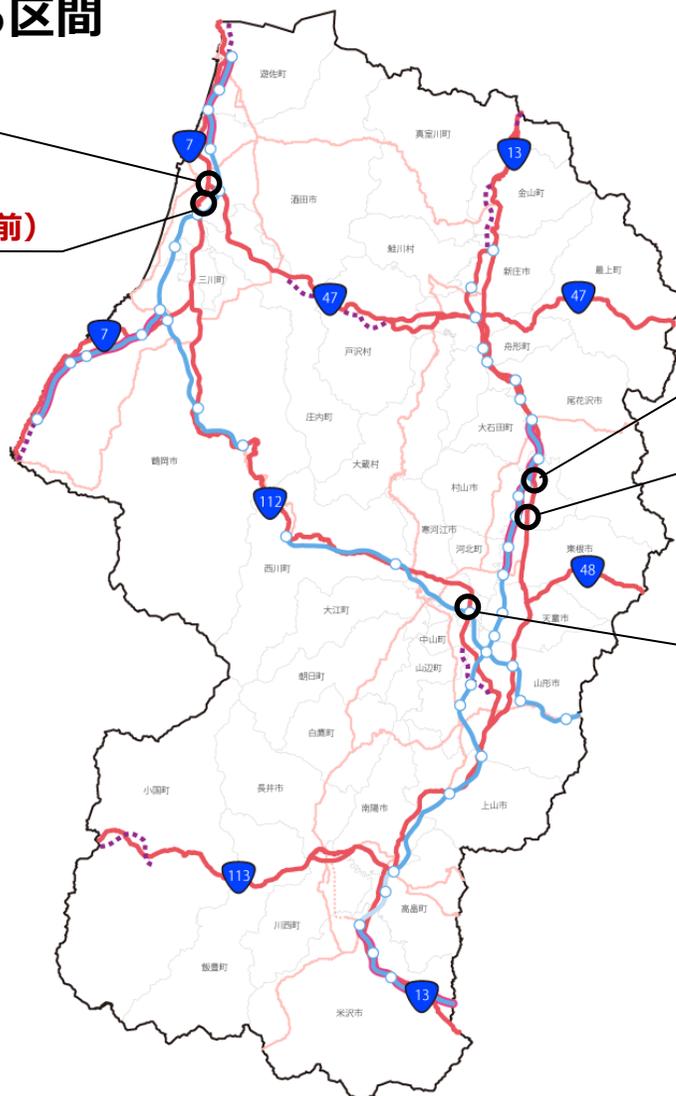
②国道7号東大町交差点

①国道7号みずほ交差点
(ガーデンパレスみずほ前)

④国道13号本飯田チャンネル交差点
(マツキさくらんぼ校前)

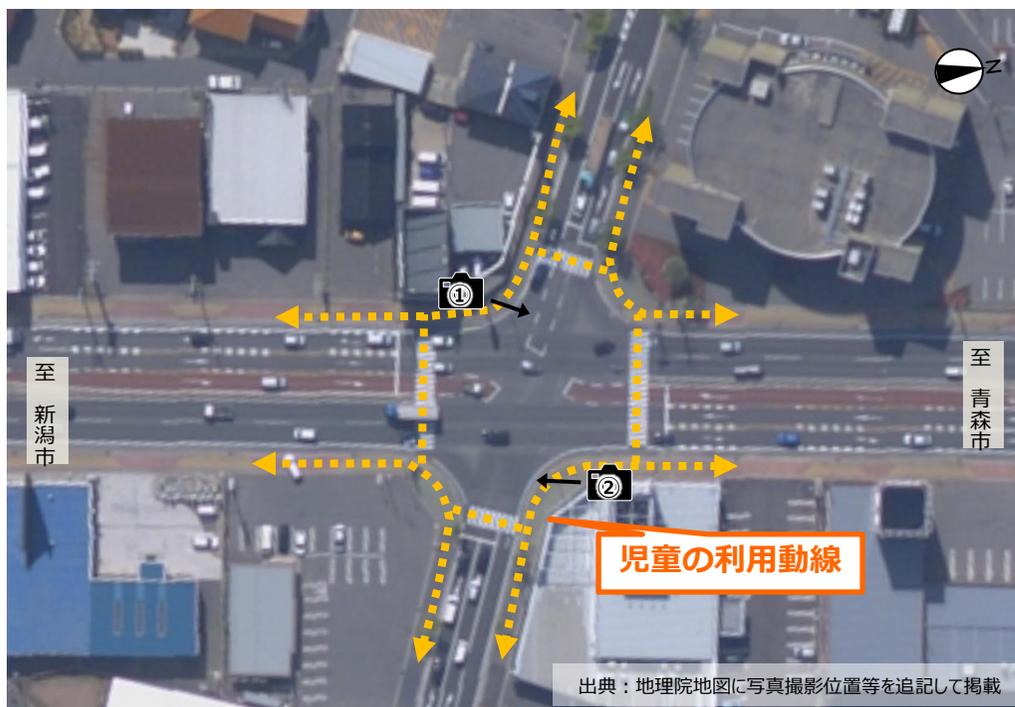
③国道13号村山市楯岡8055-1
(ヤマザワ村山駅西店前)

⑤国道112号新山一丁目交差点
(ベガスベガス寒河江店前)



1. 第3期事故ゼロプランの進捗状況

- 国道7号みずほ交差点では、交差点内で右折事故が2件、追突事故が1件が発生。
- 隅切り部には、歩車道境界ブロックが設置されているが、車両用防護柵等は未設置。
- 通学路に指定されている交差点であり、児童が日常的に横断しており、右折事故時にハンドル操作を誤った右折車両や右折事故による衝突車両が歩道部(隅切り部の歩行者滞留空間)に侵入する可能性がある。



交差点が斜めに取付いており、右折軌跡が鋭角となる

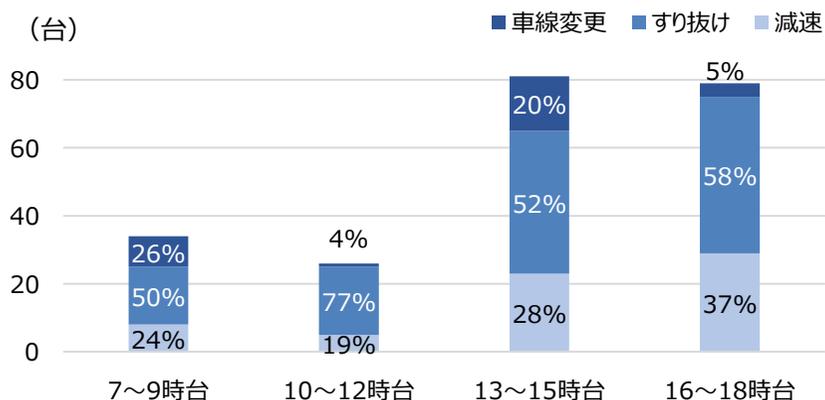


横断歩道開口部が広い



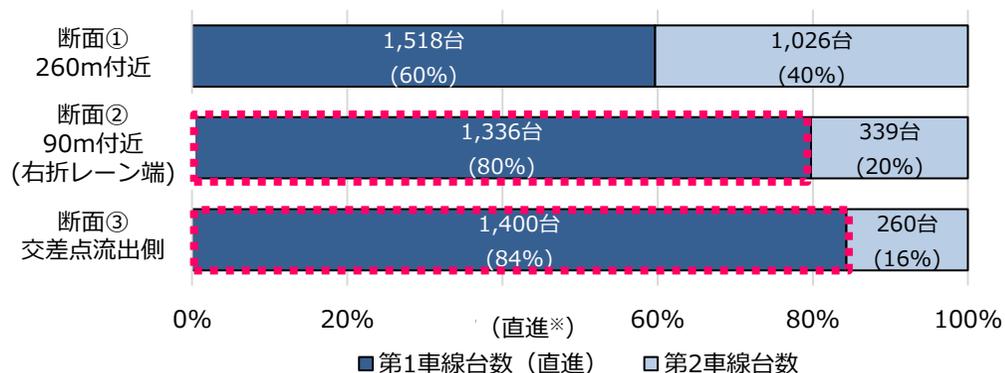
1. 第3期事故ゼロプランの進捗状況

- 国道112号新山交差点は、死傷事故率が439.1件/億台キロと高く、下り線での追突事故が多発。
- 右折レーンからはみ出た右折待ち車両を回避するためすり抜けや車線変更が多発。
- 交差点直進車に着目すると、第1車線に車両が集中しており、先線の絞り込みを考慮した車線変更時の後続車阻害も発生。



▲酒田市への右折待ち車両による後続車の回避台数

出典:交通挙動調査結果 (R3.12.15)



※断面①: 交差点直進車以外も含む、断面②・断面③: 交差点直進車のみを対象

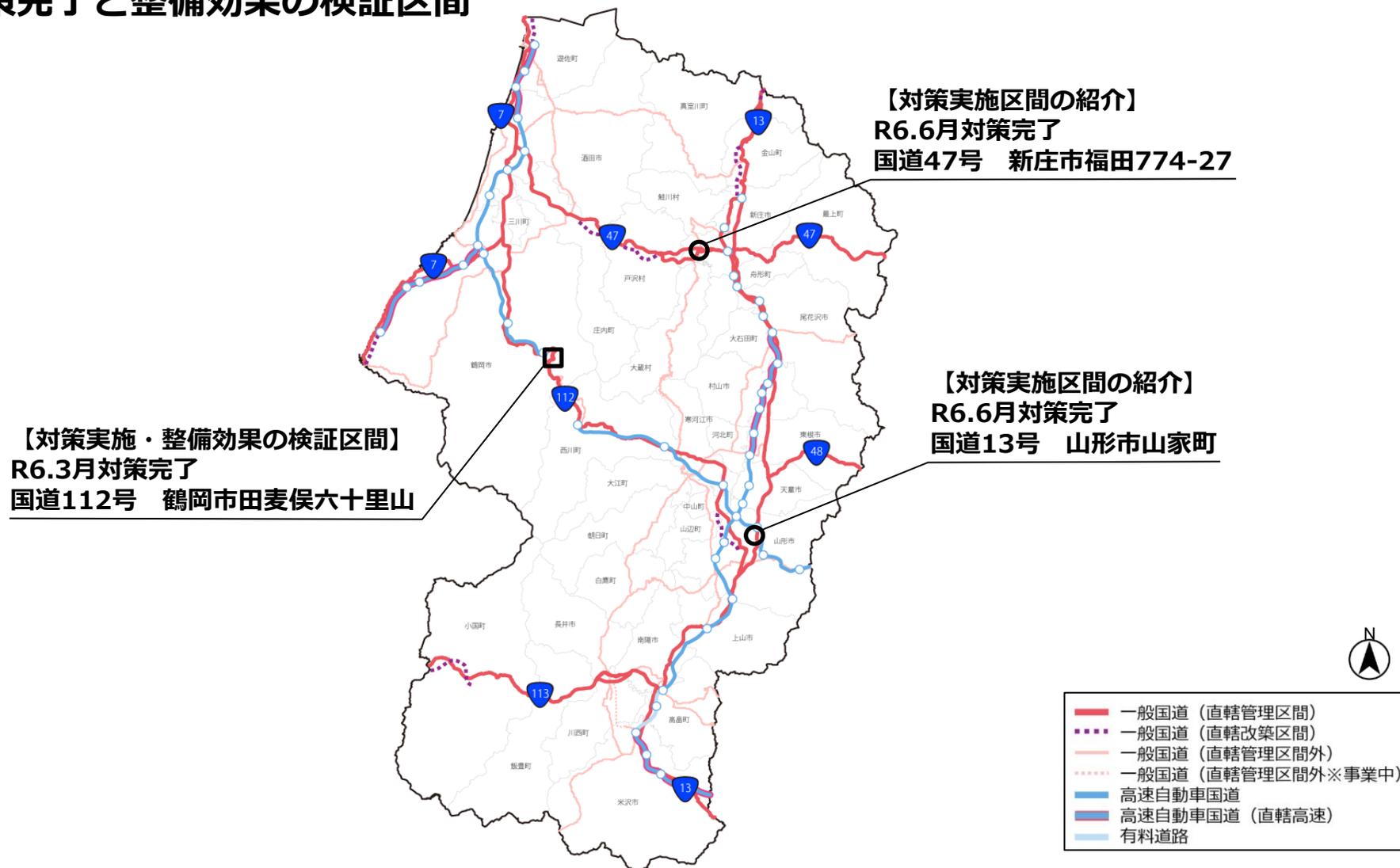
▲酒田市への各断面における車線利用率

出典:交通挙動調査結果 (R5.10.3)

2. 対策実施内容と対策後の整備効果

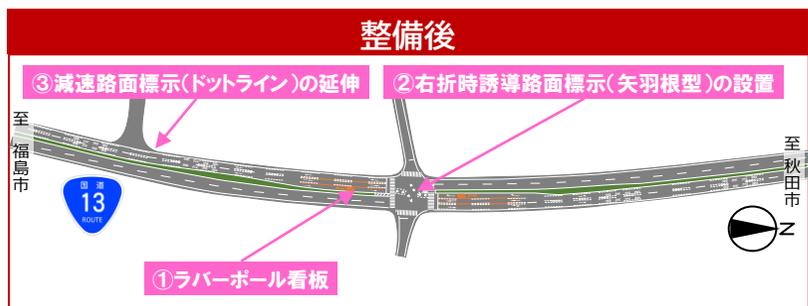
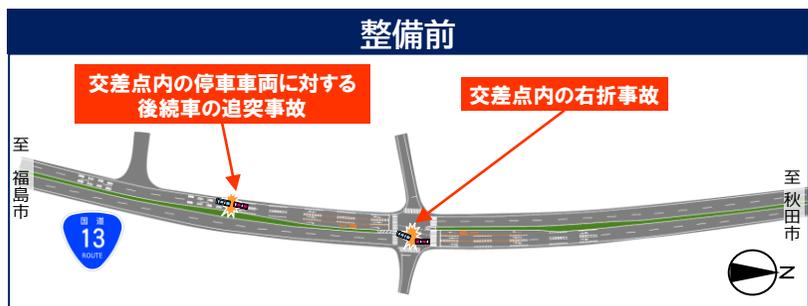
- 事故危険区間の対策を完了した3区間のうち、対策実施の紹介と整備効果の検証を行った1区間を報告。

■ 対策完了と整備効果の検証区間



2. 対策実施内容と対策後の整備効果

■ 国道13号 山形市山家町 (R6.6月対策完了)



整備前(R5.8.28)

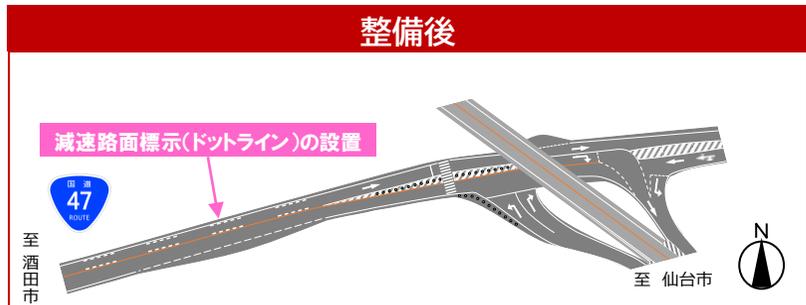
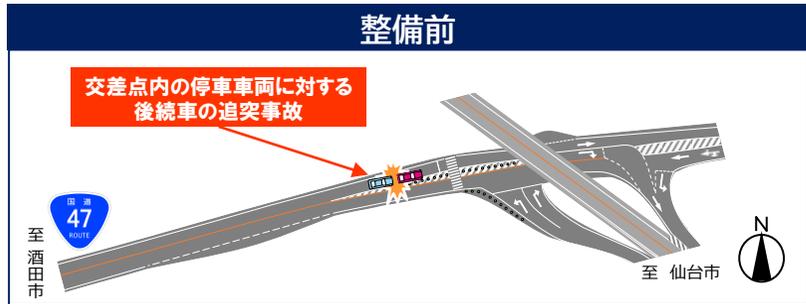


整備後(R6.8.23)



2. 対策実施内容と対策後の整備効果

■ 国道47号 新庄市福田774-27 (R6.6月対策完了)



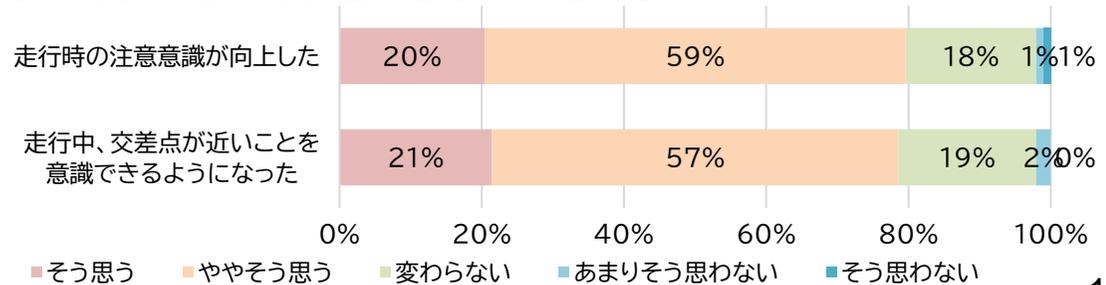
整備前(R5.9.11)



整備後(R6.9.11)



対策効果 (対策効果を実感した方を対象 N=98)



2. 対策実施内容と対策後の整備効果

国道112号鶴岡市田麦俣六十里山事故対策

- ①対策により、50km/h以上の急挙動が減少
- ②道路利用者が安全性の向上を実感

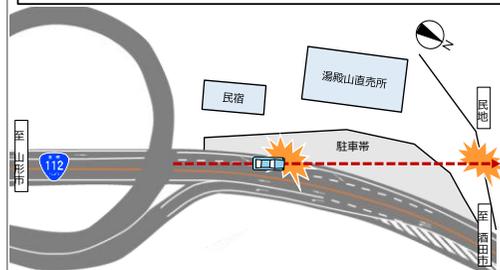
【位置図】



整備前の課題

対策前

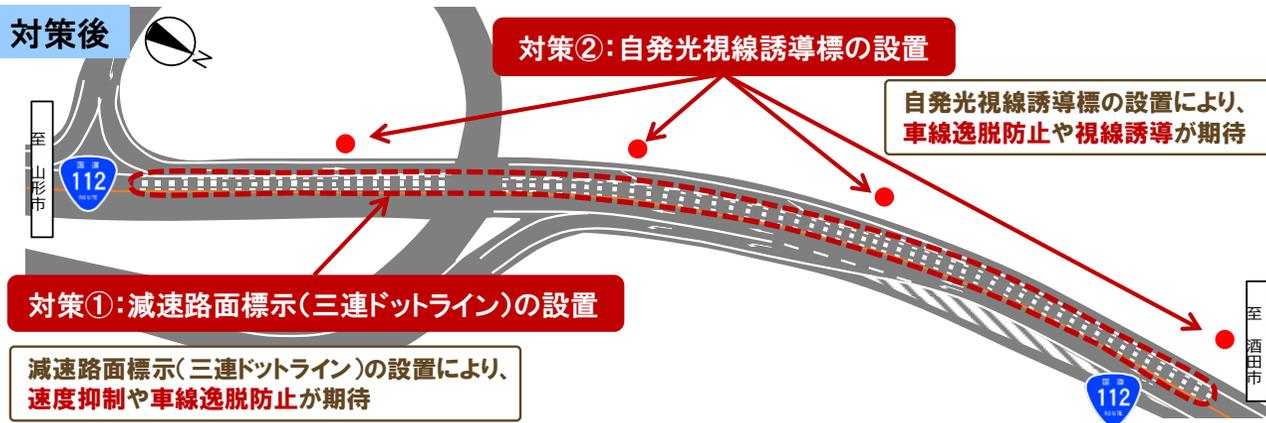
■着目事故 **車線逸脱事故**
緩やかなカーブで下り坂であるため速度超過になりやすく、夜間は線形が分かりづらい。



車線逸脱事故(R5.7月)
車両がガードパイプをなぎ倒して駐車帯を通過し、防護柵のない民地から転落。運転手と同乗者2名死亡。

対策内容 ■令和6年3月に完成・供用

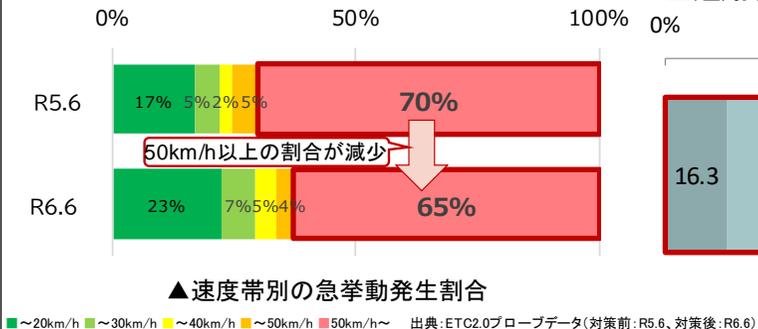
対策後



整備効果

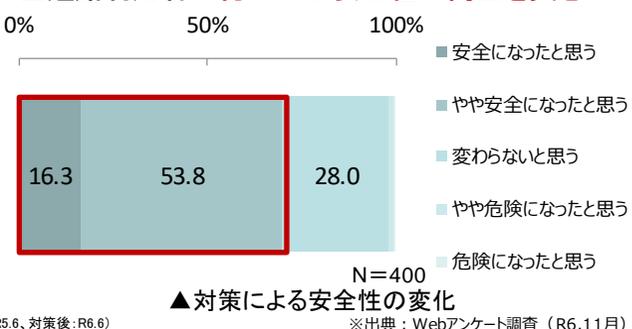
速度帯別の急挙動発生割合

■50km/h以上の急挙動発生割合が減少



Webアンケート調査結果

■道路利用者の約70%が安全性の向上を実感

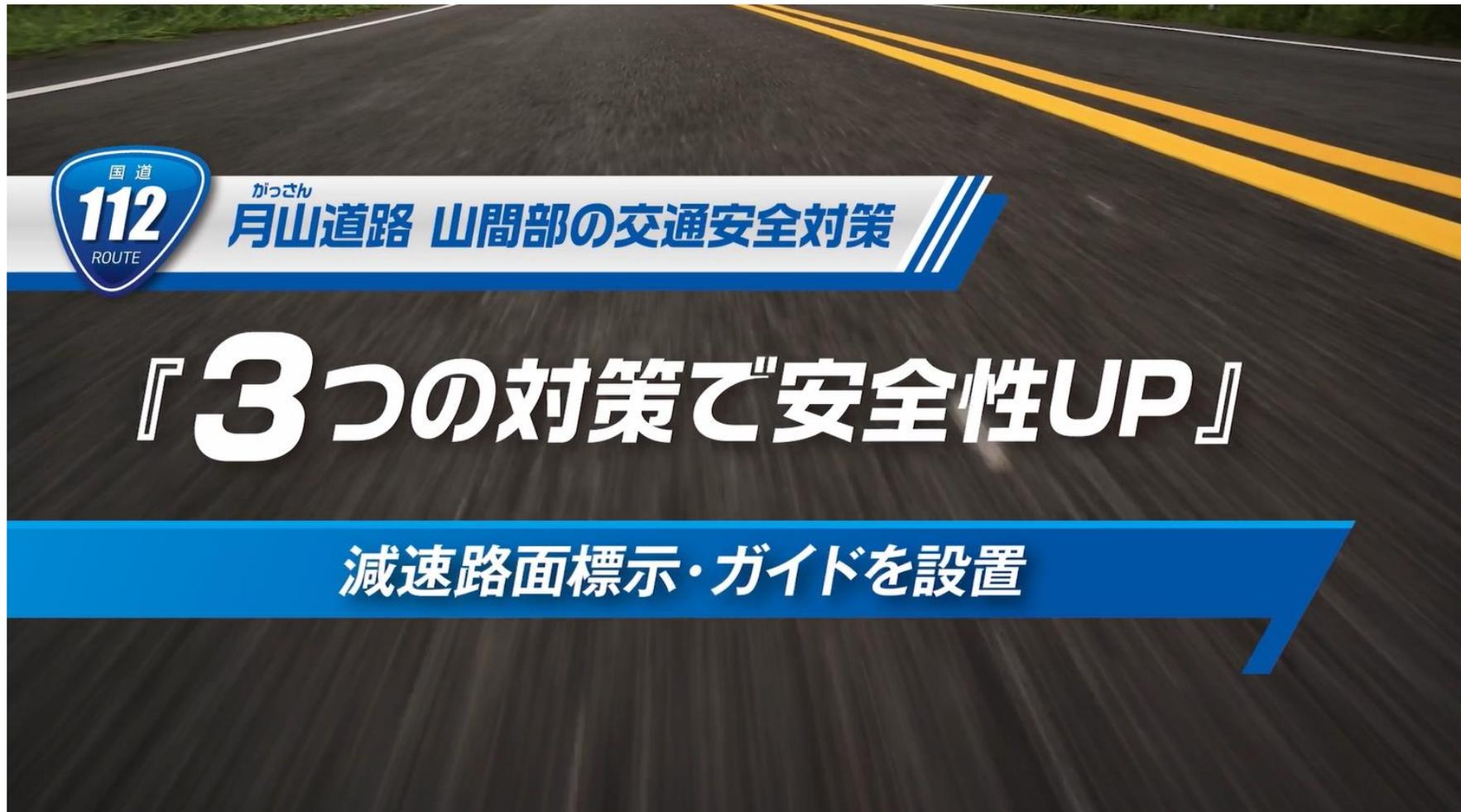


今後の展開

引き続き、事故データやETC2.0データ等の蓄積により、対策効果の確認を行います。

3. 広報による取り組み

- 月山道路の安全対策に関する広報動画を作成。
- 今後、HPにより公開予定。
動画で知る！やまがた交通安全対策
→<https://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/jikotaisakudouga/index.html>



4. 今後のスケジュール

- 今回は、第3期事故ゼロプランの進捗状況を報告。
- 次年度以降は、対策実施に合わせ、安推連で継続的に審議を予定。
- 次回の事故危険区間の更新は、令和10年度を予定。

■スケジュール(案)

時 期	内 容
令和7年1月28日	<ul style="list-style-type: none"> • 第3期事故ゼロプランの進捗状況 • 対策後の整備効果 • Webページや広報動画の公表
令和7年度以降	<ul style="list-style-type: none"> • 第3期事故ゼロプランの進捗状況 (安推連で継続的に報告予定)
令和10年度	<ul style="list-style-type: none"> • 新たな事故危険区間の選定

自動車専用道路における 事故対策について

令和7年1月28日

1. 東北中央自動車道における
ワイヤロープ接触事故のソフト対策
2. 梨郷道路 親道交差点における死亡事故対策
3. 日本海沿岸自動車道 遊佐菅里ICにおける
地元要望に対する検討

1. 東北中央自動車道におけるワイヤロープ接触事故のソフト対策

- 東北中央自動車道におけるWR接触事故多発を受け、事故分析を実施。
- WR接触事故原因の約7割は、漫然運転(前方不注視・ぼんやり運転・脇見運転)。
⇒ハード対策に加え、ソフト対策による運転意識の改善が必要

WR接触事故発生状況(東根IC～及位IC)

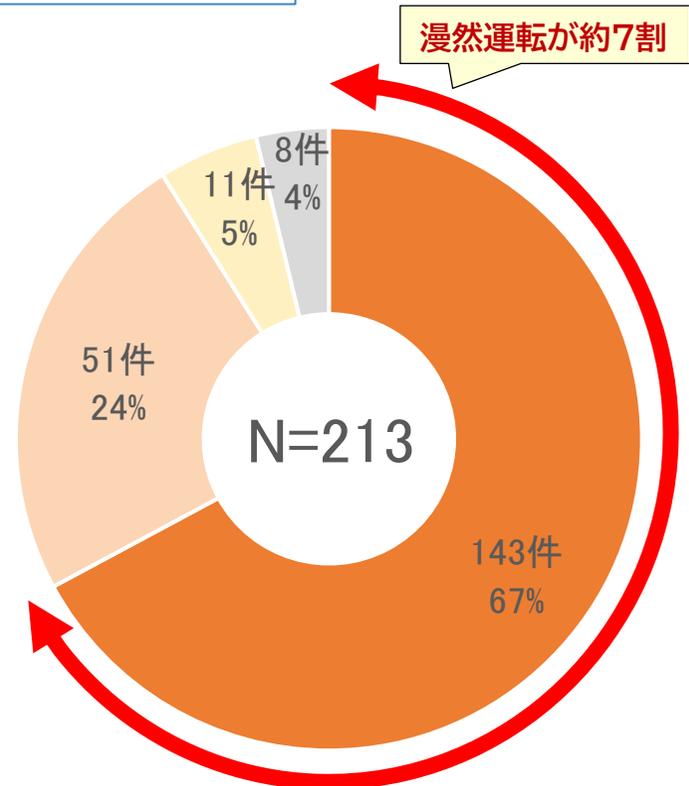


区間情報		WR損傷件数 (R4.4～R6.9)
起点側IC名	終点側IC名	
東根IC	東根北IC	0
東根北IC	村山IC	0
村山IC	村山名取IC	0
村山名取IC	村山本飯田IC	0
村山本飯田IC	大石田村山IC	0
大石田村山IC	尾花沢IC	69
尾花沢IC	野黒沢IC	45
野黒沢IC	尾花沢北IC	25
尾花沢北IC	川原子IC	18
川原子IC	舟形IC	4
舟形IC	新庄IC	24
新庄IC	新庄鮭川IC	20
新庄鮭川IC	新庄真室川IC	0
金山北IC	中田IC	8
中田IC	及位IC	0
計		213

2年半で213件発生

: WR設置区間

WR接触事故原因



- 漫然運転(前方不注視・ぼんやり運転・脇見運転)
- ハンドル操作不適
- スリップ
- その他

1. 東北中央自動車道におけるワイヤロープ接触事故のソフト対策

- 東北中央自動車道におけるWR接触事故削減を目的に、SNS広告を実施。

配信地域: 山形県内全域

配信期間: 令和7年1月8日(水)～令和7年1月21日(火)の14日間

東北中央自動車道について問題です



101件/年

何の件数だと思いますか？



1. 東北中央自動車道におけるワイヤロープ接触事故のソフト対策

- SNS広告の結果、広報動画は23.6万回表示、11.9万回視聴を達成(視聴率50.6%)。
- 広報後のアンケート調査では、「広報動画の印象」「注意意識の向上効果」等を確認。

SNS広告の結果概要

広告リンクをクリックすると広報動画ポータルサイトに移動

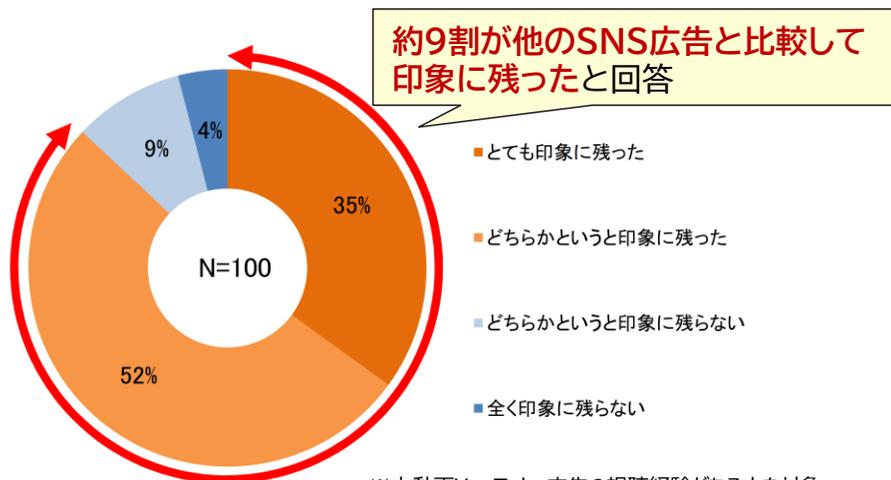
表示回数	視聴回数	視聴率	クリック数
236,919回	119,875回	50.6%	112回



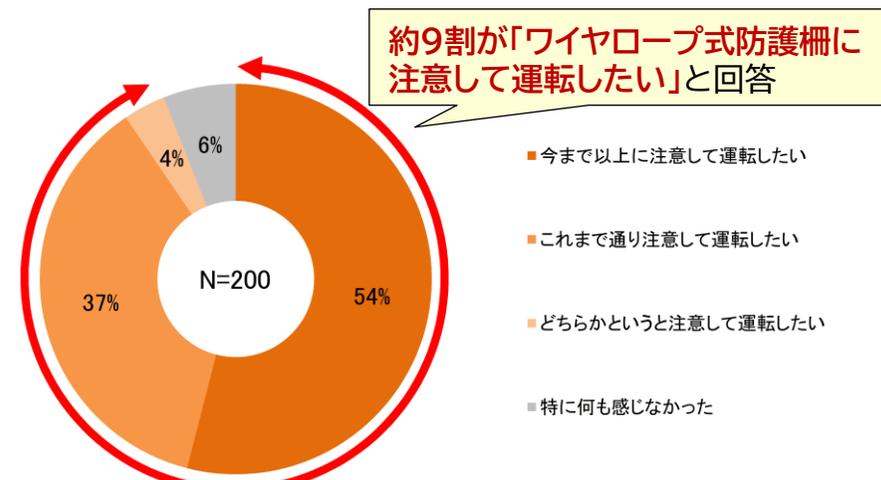
表示回数：YouTube動画再生ページで広告動画が表示された回数
 視聴回数：広告動画を30秒以上再生した回数と動画広告のリンクをクリックした回数の合計
 視聴率：表示回数のうち、視聴回数の割合
 クリック数：動画広告のリンクをクリックした回数

広報動画に関するWebアンケート調査結果(抜粋)

● 広報動画の印象



● 注意意識の変化



2. 梨郷道路 親道交差点における死亡事故対策

- 国道113号親道交差点はR6.3梨郷道路の開通以降、出会い頭が7件(うち死亡事故1件)発生。
- 長井市街方面からの車両が一時停止をせずに交差点へ進入し、高畠町方面からの直進車と衝突。
- 死亡事故を受け、交差点内の外側線の延長設置、減速路面標示(ドットライン)の設置、長井市街方面の車線運用の変更、「止まれ」の強調等の対策を交通管理者と道路管理者が協同で実施。



緊急合同現地踏査(R6.10.31)



撮影日：R6.10.31

対策前



撮影日：R6.10.31

対策後

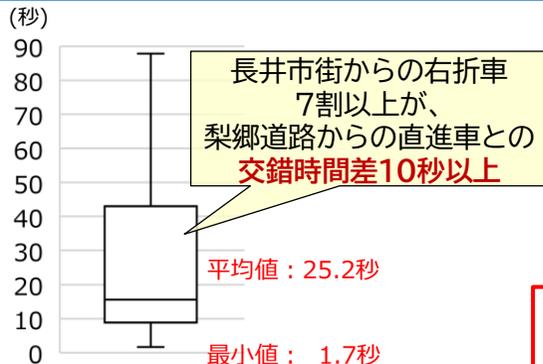
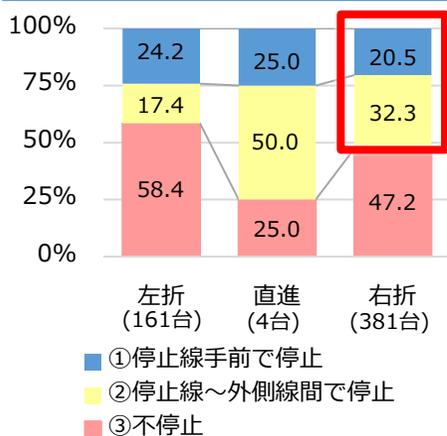


撮影日：R6.12.20

2. 梨郷道路 親道交差点における死亡事故対策

- 長井市街からの右折車の一時停止車両は約5割。一方、右折車の7割以上が、梨郷道路からの直進車との時間差が10秒以上であり、高い衝突リスクは1件のみ。
- 長井市街からの誤進入は1台のみであり、梨郷道路の交差点進入速度では、約6割が速度遵守。

①長井市街側の「止まれ」の強調や外側線の延長等→停止率向上と衝突リスク抑制の効果



▲長井市街からの右折車(不停止:81台)と梨郷道路の直進車の交錯時間差



出典：交通実態調査結果 (R6.12.20 (金) 7時台～10時台)

②長井市街側の案内標識の修正→誤侵入抑制の効果

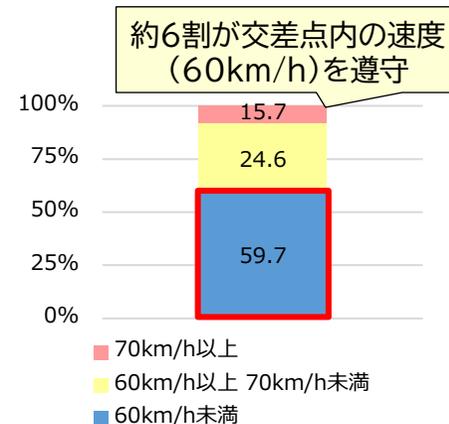


撮影日：R7.1.19

※長井市街から直進に流入後、3分以内に国道113号へ戻ってきた場合、誤進入と定義
出典：交通実態調査結果 (R6.12.20 (金) 7時台～10時台)



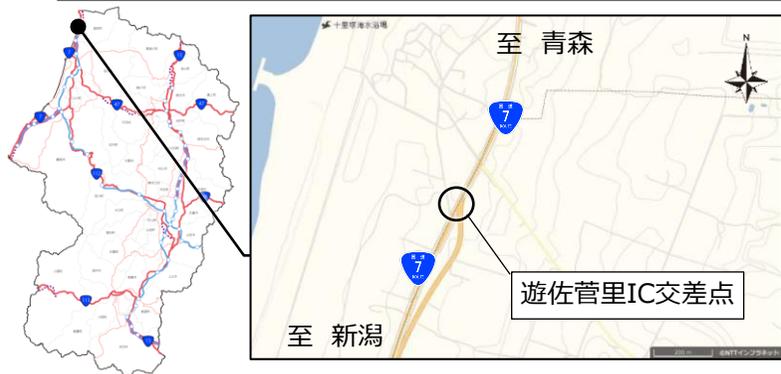
③梨郷道路の減速路面標示の設置→速度抑制の効果



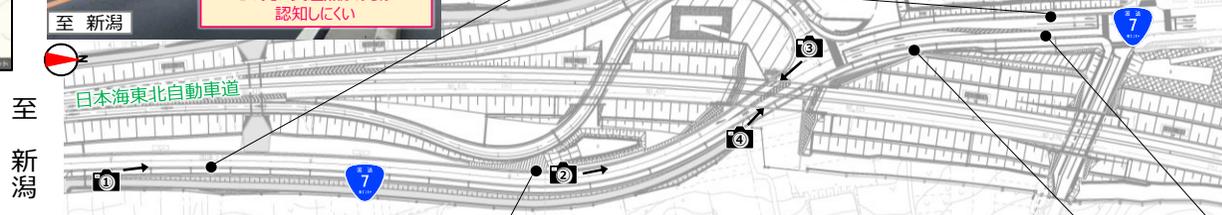
出典：交通実態調査結果 (R6.12.20 (金) 7時台～10時台)

3. 日本海沿岸自動車道 遊佐菅里ICにおける地元要望に対する検討

- ・ オフランプから本線直進車の視認性が悪いとの地元要望に対し、危険事象を把握し、対策を検討。
- ・ 交差点内の右折時の短絡走行、オフランプ左折車と本線直進車の3秒以下の急接近事象が37回/11時間発生。



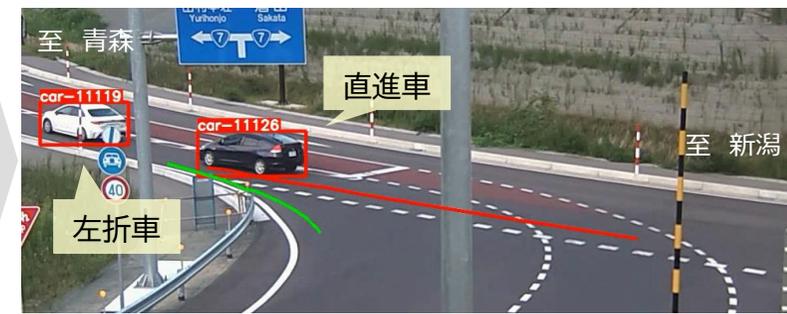
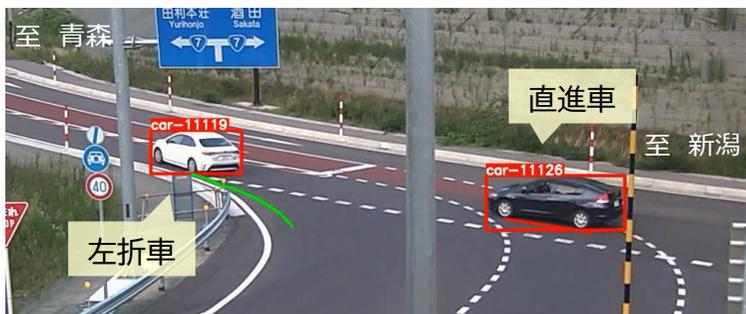
現地確認結果



危険事象①: 右折時の短絡走行



危険事象②: 急接近



撮影日: R6.5.27

出典: CCTV動画解析 (本線接近車両) (R6.8.7 (水) 7:00~18:00)

至 青森

3. 日本海沿岸自動車道 遊佐菅里ICにおける地元要望に対する検討

- 合同現地踏査にて関係機関との確認を行い、対策を立案。

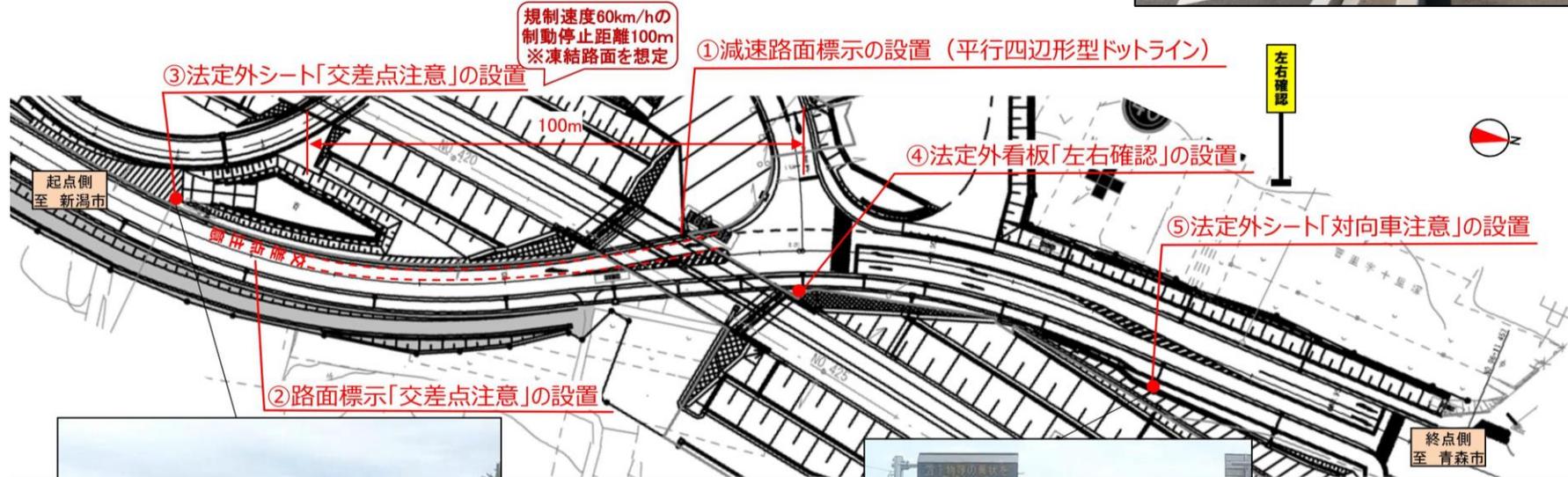
対策立案

■ 対策一覧

- ①減速路面標示の設置（平行四辺形型ドットライン）
- ②路面標示「交差点注意」の設置
- ③法定外シート「交差点注意」の設置
- ④法定外看板「左右確認」の設置
- ⑤法定外シート「対向車注意」の設置



合同現地踏査(R6.10.17)



総合的な交通安全対策の取組状況について

令和7年1月28日

山形県警察本部交通部

1 令和6年中県内の交通事故発生状況

	令和6年	令和5年	増減数	増減率
発生件数	2,457	2,780	-323	-11.6%
死者数	24	34	-10	-29.4%
負傷者数	2,927	3,295	-368	-11.2%

※上記交通事故発生状況等については、[山形県警察ホームページ内の「交通事故日報：交通事故発生状況」](#)でもご確認いただけます。

2 道路管理者と連携した幹線道路対策

(1) 梨郷道路における対策

ア 梨郷交差点の逆走対策について、道路管理者(山形河川国道事務所)と現場点検等を実施、連携して逆走防止対策を実施

イ 昨年10月、親道交差点において、死亡事故を含む重大事故が多発したことから、道路管理者や交通安全団体等との「国道113号親道交差点安全対策会議」を開催し、交通安全対策について検討・対策の実施

(2) 国道348号における対策

国道348号において、死亡事故を含む重大事故が発生したことを踏まえ、警察本部において道路管理者(山形県)との「国道348号交通安全対策連絡会議」を開催し、交通安全対策について検討・対策の実施

(3) 山形自動車道における対策

昨年7月、山形自動車道の風明山トンネル内において死亡事故が発生したことから、道路管理者(NEXCO山形管理事務所)と緊急会議を開き、交通安全対策を検討・対策の実施



梨郷交差点事故防止対策



国道348号交通安全対策連絡会議



風明山トンネル内の緊急対策

3 通学路の合同点検による対策

(1) 概要

毎年、各市町村の「通学路交通安全プログラム」に沿って教育委員会、学校関係者、道路管理者及び県警察が連携して計画的に実施しています。

(2) 令和6年度の実施状況（警察担当）暫定数

- 対策必要箇所数 157箇所
- 対策実施内容
 - ・ 信号現示の秒数調整
 - ・ 交通規制の実施や見直し
 - ・ 横断歩道や一時停止の標示更新
 - ・ 交通指導取締り、通学路での安全指導等



4 持続可能な交通規制の推進

(1) 背景

日本社会は、質・量共に大きな変革の中にあり、道路交通分野においても、交通規制の実施や交通安全施設等の設置に係る状況を不断かつ果敢に見直す必要がある

○人口減少によって人口動態が大きく変化した地域

○特定小型原動機付自転車や自動運転車両等の新たなモビリティの対応 など

(2) 警察の方針

道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図り、及び道路の交通に起因する障害を防止する目的という交通警察の使命を継続的に果たすためには

○実態に適合した交通規制を実施するための不断の見直し

○コスト合理化のための交通安全施設等のストック管理及び必要性が低下した交通規制そのものの改廃

を強力かつ持続的に推進することが必要不可欠である。

(3) 交通規制の見直し

○交通量が減少した箇所

○小中学校の統廃合等により通学路に該当しなくなった箇所

○優先関係が明らかであり、交通量も多くない交差点 など



信号機



横断歩道



一時停止

「ゾーン30プラス」整備計画(山形県大石田町 大石田地区)

おいしだま おいしだ

■地区

・山形県大石田町 大石田地区



■主な対策内容

【警察(尾花沢警察署(TEL:0237-24-0110))】

・最高速度30km/h区域規制、交通違反取締

【道路管理者(山形県村山総合支庁北村山道路計画課(TEL:0237-47-8670))】

・交差点改良、道路改良、歩道整備

【道路管理者(大石田町役場建設課(TEL:0237-35-2111))】

・狭さく、カラー舗装、ゾーン30プラス看板および路面表示

【地域(地域住民等)】

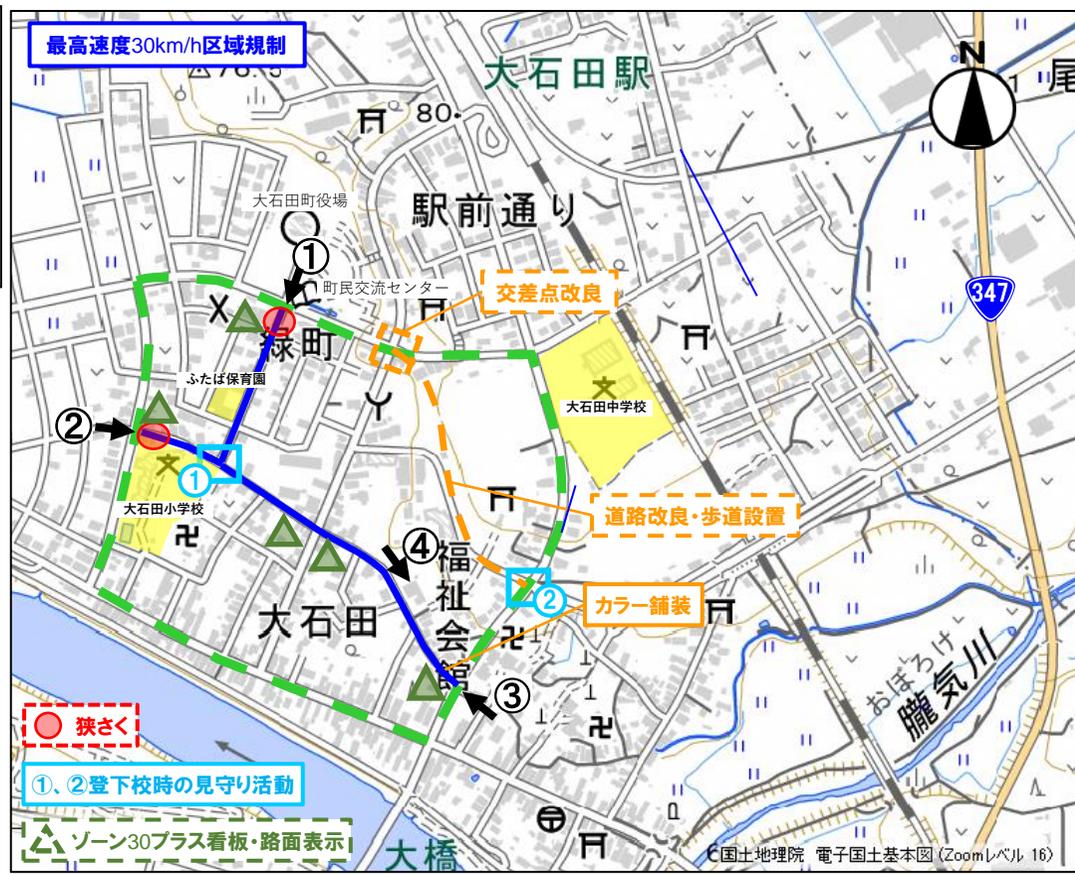
・登下校時の見守り活動

※ 対策内容の詳細については、上記の問い合わせ先にご連絡ください。

■推進体制

- ・山形県警察本部、尾花沢警察署
- ・山形県村山総合支庁
- ・大石田町
- ・大石田町教育委員会
- ・スクールガードリーダー

■対策の実施状況



出典: 国土地理院地図



狭さく、ゾーン30プラス看板・路面表示



狭さく、ゾーン30プラス看板・路面表示



ゾーン30プラス看板・路面表示



登校時の状況

凡例	
	ゾーン30プラス
	ゾーン30プラス 看板・路面表示 対策済
	対策予定
※破線は整備区域に含まれない道路	
物理的デバイス	
	対策済
	対策予定
規制等	
	対策済
	対策予定
その他ハード対策	
	対策済
	対策予定
ソフト対策	
	実施中
	実施予定

※ 今後、実施した対策の効果検証を行い、更なる対策の必要性等について検討していきます。(PDCAサイクルの継続的な取組)

国道348号事故対策 に関する取組

令和7年1月28日

山形県 県土整備部 道路整備課

国道348号事故対策に関する取組

対策内容

対策1: ドットラインの整備

対策2: 路面に制限速度を表示(警察)

対策3: 中央線ラバーポール設置

…車線を狭め、速度低下を促す

…路面にも制限速度を標示し、速度超過を抑制

…視線誘導により、対向車線への車線逸脱防止

対策箇所: 西置賜郡白鷹町大字滝野地内

